

令和 6 年度地域公共交通確保維持改善事業 に関する事業評価について (待合環境整備事業)

令和 8 年 1 月 2 3 日
交通政策課

1 令和6年度地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について（待合環境整備事業）

●事業評価の概要について

地域公共交通確保維持改善事業（国庫補助金）を活用した事業について、次年度又は将来の事業をより効果的・効率的に実施するために、事業の実施状況等を振り返り評価するもの。

評価の内容を福岡運輸支局へ報告する。

【市バス停留所待合環境整備事業】

1. 評価対象事業

- 地域公共交通確保維持改善事業
 - ・市バス停留所待合環境整備事業

2. 評価対象年度

令和6年度（令和6年4月1日～令和7年3月31日）

3. 事業評価（提出書類から抜粋）

(1) 前回の事業評価結果の反映状況（実施事業内容）

令和5年度からの事業

(2) 目標・効果達成状況

令和6年度の設置目標20基に対し設置実績23基。バス待合時の負担は軽減され、待合環境は向上した。

※交通会議の承認を得た後に内容に修正が発生した場合は、事務局で修正をさせていただければと存じます。

令和8年1月 日

九州運輸局長 殿

住 所 福岡県嘉麻市岩崎1180番地1
協議会名 嘉麻市地域公共交通会議
代表者名 会長 神代 昭彦

地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価の提出について

令和6年度地域公共交通確保維持改善事業に伴う事業評価を行いましたので、別添のとおり報告します。

担当部署：嘉麻市交通政策課交通政策係
担当者名：伊藤 智洋
連絡先：0948-42-7404
E-mail: kotsu@city.kama.lg.jp

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年1月 日

協議会名:嘉麻市地域公共交通会議

評価対象事業名:市バス停留所待合環境整備事業

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
嘉麻市地域公共交通会議	バス停留所へのベンチ設置	待合環境の向上を図るため、令和5年度から事業を開始し、ベンチを10基設置しています。 ベンチの設置は、待合時の負担を大幅に軽減するものであったため、令和6年度も引き続きより多くのバス停にベンチを設置しました。	A 事業を計画に位置付けられたとおり、適切に実施した。	A 事業が計画に位置付けられた目標を達成した。 目標値:市内30カ所のバス停留所にベンチを設置 達成状況:市内33箇所(R5年度10基、R6年度23基)のバス停留所にベンチを設置	令和6年度事業により、市内の主なバス停留所へのベンチ設置は完了した。今後は、上屋の設置を行なうことで、待合時の負担を軽減し、バス利用者の更なる増加を図る。

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和8年1月 日

協議会名：	嘉麻市地域公共交通会議
評価対象事業名：	市バス停留所待合環境整備事業(バス停ベンチ)
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	嘉麻市地域公共交通計画においては、「高齢者や学生が公共交通で気軽に外出・移動できる環境の整備」を基本方針に掲げ、その中で待合環境の整備を目標としている。当市にある多くのバス停留所では、待合環境の整備が不十分であり、アンケート等においても待合環境の改善を要望する意見が多い状況にあるため、待合環境整備は重要な課題となっている。このことから、バス利用者の待機時間における負担を軽減を図り、公共交通を利用しやすい環境整備を目的として、当市ではベンチ設置に関する基準を定め、待合環境整備を実施していくこととしている。